

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「自ら学び、仲間と学び、自分の思いや考えを深め、表現できる子の育成」
－計画的な学習指導による基礎・基本の徹底と、一人ひとりのよさを生かし伸ばす教育の推進－

＜本年度の学力向上策＞

◎校内研修の充実

国語科では、基礎・基本の確実な定着と表現力の向上を図るため、「書く活動」に重点を置いた授業改善を中心に研究を進める。改善の視点として、「主体的に学ぶための工夫」「仲間と関わりながら学ぶための工夫」「学びを深めるための工夫」を効果的に取り入れることとし、市学習状況調査で課題となっている「読むこと」「書くこと」に関わる力の育成に努める。

◎業前学習の計画的な推進

毎週月曜日の業前学習「パワーアップタイム」では、国語の基礎・基本を習熟させるため、「書く活動」「音読・暗唱」等を計画的に配置し、授業実践とともに市学習状況調査での課題となっている力を高められるようにする。

◎少人数指導及びスクールアシスタントの適切な配置

算数科において全学年で少人数指導担当を配置し、チームティーチングや習熟度別指導・個別学習等の学習形態で児童の意欲を高め、個々への支援を適切に行う。また、学習室を活用し、少人数での指導を積極的に行ったり、個別支援教室を実施したりするなどして、基礎・基本を徹底するための学習環境を整えていく。

◎家庭・地域の教育力の活用

「家庭学習の手引き」の配布及びWebページへの掲載により、自主学習や読書の奨励等で家庭と連携して取り組む。また、保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを年間指導計画に位置付けるとともに、学校図書館の利活用で児童の読書量を増やし、読解力や語彙力の向上に役立てる。

＜本年度の振り返り＞

- 市学習状況調査では、4, 5年生の国語「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(既習漢字の定着や主語述語の関係把握等)、3, 4年生の算数「数量関係」(単位の換算や筆算の計算等)の領域において課題が見受けられた。国語科の課題については、校内研修を通じた漢字指導や「パワーアップタイム」等の改善を図る。また、算数科の課題については、個々に対する支援を充実させたり、指導形態を工夫改善したりするため、少人数指導担当やスクールアシスタントを適切に配置し、きめ細やかな指導を行うようにする。
- 「生活習慣に関する調査」から、家庭及び地域のご協力により、多くの児童が規則正しい生活、家庭での学習習慣や本に親しむ習慣を身に付けていることが分かった。今後も、連携を密にしていくことで、学習の下支えとなる力の育成に努める。